

国土技術政策総合研究所コンプライアンス・アドバイザー委員会 議事概要
(令和7年度 第1回)

○開催日時 : 令和7年6月16日(月) 15時00分～15時50分

○開催場所 : WEB会議

○出席委員

委員長	義経 百合子	弁護士
委員	石倉 毅典	公認会計士
委員	長井 宏平	北海道大学大学院 教授
委員	森本 章倫	早稲田大学 教授

(委員は五十音順)

○議事概要

(1) 令和6年度国土技術政策総合研究所コンプライアンス推進計画実施状況(最終報告)について

【主な意見、質問及び回答】

- 発注綱紀保持規程に抵触する事案があり、コンプライアンス・ミーティングの臨時版を1月に実施されたとのことだが、全職員参加することができたのか。
 - 臨時版は、発注綱紀保持規程に抵触する事案を具体的に説明した内容である。各所属長より受講率100%の報告を受けており、全職員が参加した。
- 発注綱紀保持規程に抵触する事案を題材にしたコンプライアンス研修等は、全職員へ具体的に説明しているのか。この事案が指導の中で今後残っていくのであれば、内容の一般化を図りバランスを検討した方が良いと思われる。
 - 令和6年12月2日の幹部会議で、所長より規程に抵触した事案の具体的な説明と、注意喚起のメッセージがあり、各所属長から全職員へ具体的に周知されている。
- 講習会や研修、コンプライアンス・ミーティング等を実施した際に、受講者へアンケート形式等で要望などを集めているのか。アンケートをその都度行うのは負担も大きいですが、再発防止策の実施に向け検証改善するには、取り入れることも検討いただきたい。
 - 講習会や研修等のアンケートはこれまで行っていなかったが、実施を検討していく。

【総評】

- コンプライアンス違反を繰り返さないためには、研修等の内容が具体的である必要があるものの、どこまで具体的な内容とするのかを検討しつつ、進めるようにしてください。

推進計画によるコンプライアンス意識向上に向けた取り組み内容の検討で、評価・検証・改善等を行うこととなっている。今後は、講習会や研修、コンプライアンス・ミーティング等を実施した際にアンケート調査等を行うと、改善点やヒントなどが出てくるように思う。適宜検討いただきたい。

(2) 国土技術政策総合研究所発注業務に係るコンプライアンス違反の再発防止策の取組状況について

【主な意見、質問及び回答】

- 予算の繰越、不用の可能性について、周知した取り組みは良いと思う。事前に周知することにより、職員が気付き、準備する心構えができると思うので、タイミングを見計らって周知するよう検討いただきたい。
- 予算執行に関わる重要な事柄であるので、タイミングを検討しながら周知していく。
- 再発防止策の実施において、推進計画の実施状況や効果を検証し、必要な見直しを行う等、PDCAサイクルを活用するとある。アンケートの継続的な実施により、見直しの材料なども出てくると思うので検討いただきたい。
- アンケートの実施について検討していく。

【総評】

- 予算執行に関わる周知のタイミングに留意していただきたい。再発防止策の見直しにあたり、周知を受けた側（職員）の感想を踏まえて、今後の検討の参考にしていただきたい。